

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 地域材を活用した「住まい手に優しい家 30」

グループの名称 BHB会(グリーン化事業を考える部会)

直近採択グループ番号 06-0537-0480

(グループ代表者)

代表者名	吉田 達弘	代表者印
代表者所属先	株式会社ヤマガタヤ	
代表者所在地	愛知県名古屋市中区正木1丁目1番4号	
代表者電話番号	052-331-3588	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社ヤマガタヤ	
事務局担当者名	渡辺 暁	印
事務局郵便番号	460-0024	
事務局所在地	愛知県名古屋市中区正木1丁目1番4号	
事務局電話番号	052-331-3588	
事務局FAX	052-331-2596	
事務局担当者E-mail	a-watanabe@yamagataya-group.co.jp	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		59	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	34	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		35	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	26	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		4	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		6	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		4	棟			
					650	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		1	棟			
					105	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	配分総数の70%は申込み順で配分、残り30%の時点で申込み仕切り日を設定し、抽選で配分する。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	16	戸	交付申請戸数	16	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	16	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	6	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域材を活用した「住まい手に優しい家 30」	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県、愛知県、三重県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) BHB会(グリーン化事業を考える部会)	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0537-0480	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・地域産材の家 耐久性があり材面が美しい「東濃松」「長良杉」、または岐阜県産材、もしくは「合法木材」(無垢・EW)を柱とする。 ・住まい手に優しい家 階段14段以上 又は蹴上を20cm以下とする。手摺設置(トイレ、浴室、階段) オプション設定として制振装置(Vレックス又は同等以上の性能を持つ装置)を提案する。 ・地球環境に優しい家 節水措置(節水トイレ、節水水栓、食洗器)、雨水等の利用(雨水利用、井戸水利用、雑排水利用)から、1つ以上選択する。 ・エネルギー環境に優しい家 一次エネルギーを削減する(HEMSの採用、太陽光発電の設置、エコキュートの設置、居室の照明がLED照明、Low-E複層ガラスの採用 から1つ以上選択する)。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・地震に強い家 ①柱、土台は3.5寸以上とする。②2階床面4周釘打ちで床倍率3倍とする。③耐震等級2以上を確保する(認定低炭素・ゼロ・エネルギー住宅についてはこの限りではない)。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・和の住まい要素 いづれか一つを取入れる(①和室がある。②畳コーナーがある。③柱の現しが1ヶ所以上ある。④梁の現しが1ヶ所以上ある。⑤格子スクリーンがある。⑥ウッドデッキ又は縁がある。⑦玄関に引戸を採用する)。 ・屋根勾配 5寸以下とする。	◎
④①～③の背景	当グループの対象地域は、夏暑く冬は寒く、近い将来には南海トラフ巨大地震での被害発生が想定されている。また、「東濃松」「長良杉」という耐久性もあり材面も美しい地域材があるので、その利用を事務局のホームページなどを通して推奨していく。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ事務局で標準仕様書の作成をし、全施工構成員へ配布する。平成29年度の実績では、全申請物件の過半数が仕様書に基づき施工されていることが確認された。	○
②-1 建材・資材調達の見直し	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 検討委員会を設置し、定期的に会合を開き検討する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: グループ事務局では、全施工構成員へ配布した標準仕様書の内容を順守するよう働きかける。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	■ ない □ ある → 内容:	
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: ここ数年の実績では、全申請物件の過半数が仕様書に基づき施工されていることが確認されたが、検査ルールの確立には至っていない。本年度は全申請物件に対しチェックができるようにする。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない □ ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: 当グループ事務局の母体である株式会社ヤマガタヤのホームページ上で、一般ユーザー向け情報公開コーナーを立ち上げる。情報に関しては、補助金事業の概要、グループ構成員情報、その他開催する説明会等の案内を掲載する。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	■ ない □ ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない ■ ある → 内容: 国が進めようとしている「建設キャリアアップシステム」が稼働する場合、事務局が中心となり施工構成員に参加するように積極的にPRしていく。	○
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容: 補助金の交付申請者(施工事業者)には、建設業社会保険(厚生年金、健康保険、失業保険)、ならびに労災保険証書のコピーを提出してもらう。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: 特に屋内作業時に安全帯とヘルメットの着用を徹底するよう、呼びかける。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域材を活用した「住まい手に優しい家 30」	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県、愛知県、三重県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) BHB会(グリーン化事業を考える部会)	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0537-0480	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: パナソニック社の履歴管理サービス「リビングベル」等の第三者運営の仕組みの活用を推奨する。	○
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: パナソニック社の履歴管理サービス「リビングベル」等の第三者運営の仕組みの活用を推奨する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「リビングベル」等への申込書のコピーを事務局が集め、内容を確認する。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画書に基づく点検チェックシートで、定期点検を実施する。なお、施工構成員以外の第三者点検サービス機関の利用も可能とする。	○
		②-2 補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が開催する展示会、その他イベントで実施している。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が開催する展示会、その他イベントで実施している。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理は当該物件の施工に関わった構成員が行うものとするが、倒産あるいは解散等により、維持管理を行うことができなくなった場合、総会決議によって、当該構成員の代わりに維持管理を行う構成員を決めるものとする。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 株式会社エスコロー・エージェント・ジャパンの完成保証サービス等を利用する。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験施工事業者の受注のつど、事務局が中心となり指導する。		◎
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 標準仕様書の内容を順守する。		◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員の設計事業者がチェックシートにて図面、仕様をチェックし、品質の管理をしている。ただし他の設計事業者を活用した場合、この限りではない。		○
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎月、事務局で主要な施工構成員の受注情報を把握していく。		◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 35 今年度の参加目標人数 20		○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数		
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的にグループ施工業者に対して送るメールマガジン等で情報の提供と参加を促す。また、開催日が決定されればファックスでも案内する。		◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: サイディングプレカットなどを新技術として推進・導入中。事務局にて主要な施工構成員に対し広くPRし普及をはかる。		○
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: サイディングプレカットの新技術に有用な建築物の壁面を測定する装置、ソフト、システム等の開発		○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 地域材を活用した「住まい手に優しい家 30」	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県、愛知県、三重県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) BHB会(グリーン化事業を考える部会)	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0537-0480	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は○印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		
a	◎、○記入欄	
① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	「東濃検」「長良杉」、または岐阜県産材、もしくは合法木材(無垢・EW)のいずれかを主要構造材の過半に採用する(一部の工法の場合、梁・桁等の横架材等には、岐阜県産材、もしくは合法木材(無垢・EW)を使用しなくともよい)。	◎
② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input checked="" type="checkbox"/> 50%未満 <input type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明		
b	◎、○記入欄	
①-1 地域材在庫把握の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員専用のホームページをH30年度版へ改訂し、供給グループ(原木供給・製材・集材・合板・流通)から価格情報等入手し、ホームページ上への公開を実施する。	◎
② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局でグループ構成員から地域材の需給状況入手し、全構成員に対しホームページ上で情報公開する。	○
c	◎、○記入欄	
①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算)は50枚だが、施主の要望に合わせるため、全ての住宅で採用することはない。	○
①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局で活用を奨励しているが、年々使用は減っている	○
①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 建築地の自治体における条例があった場合、条例に沿った意匠を採用する。	○
d	◎、○記入欄	
① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 対象地域の一部の地域においては、自治体の条例があり、それに合わせてもらう。	◎
④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和の住まい要素 いづれか一つを取入れる (①和室がある。②畳コーナーがある。③柱の現しが1ヶ所以上ある。④梁の現しが1ヶ所以上ある。⑤格子スクリーンがある。⑥ウッドデッキ又は縁がある。⑦玄関に引戸を採用する)。ただし、施主の要望がない場合は、その限りではない。	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		
◎、○記入欄		
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 地域材を活用した「住まい手に優しい家 30」	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 岐阜県、愛知県、三重県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> BHB会(グリーン化事業を考える部会)	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0537-0480	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>【木造建築物の特徴】 (1) 認定低炭素建築物の認定をBELSによって取得する。 (2) 内装仕上に「東濃桧」「長良杉」などの地域材も使用する。 (3) グリーン化事業に関するホームページを充実させ、一般ユーザー向けの情報発信力を高める。</p> <p>【認定低炭素住宅の特徴】 (1) アルミ製サッシ以上の性能を持つサッシの採用 (2) エアコンの指定は無し (3) 出来るだけリーズナブルな仕様で提供し、予算対応力を持たせる</p> <p>【ゼロ・エネルギー住宅の特徴】 (1) アルミ製サッシ以上の性能を持つサッシの採用 (2) 5スター級のエアコンの採用 (3) エコキュート(パワフル高圧フルオートタイプ)の採用</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。